

## 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第二期中期目標(案)のポイント

## I 三つの重点医療の提供体制の充実【2(1)ア】

- 診療科間の連携強化を図り、個々の患者に適した治療を効果的に提供する。  
〈血管病医療〉
- 患者・家族が安心して療養生活を営む環境を整備するため、相談体制の充実、緩和ケアの実施など、がん医療の充実を図る。  
〈高齢者がん医療〉
- 認知症疾患医療センターとして、地域における認知症医療の体制強化を推進する。  
〈認知症医療〉

(想定する主な取組)

- ・関連診療科の一体的配置による連携強化【新】
- ・検査機能の集約による入院前の効率的な検査の実施、患者負担の軽減【新】
- ・がんの相談窓口を新設し、患者・家族の相談に看護師が総合的に対応【新】
- ・緩和ケア病棟開設【新】
- ・適確な鑑別診断、適切な治療方針の決定
- ・患者・家族、地域の医療・介護機関等を対象に専門相談を実施

## II 高齢者の在宅療養を支える役割【2(1)エ、(3)ウ】

- センターが持つ高齢者医療の実績や専門性を活かし、高齢者が地域の中で安心して生活を営むための環境づくりに貢献する。
- 高齢者の在宅療養を支える人材の育成に貢献する。

(想定する主な取組)

- ・退院患者を対象とした、在宅療養支援のための訪問看護の実施【新】
- ・緩和ケア病棟における在宅療養患者の一時受入れ【新】
- ・板橋キャンパス内介護施設と連携した人材育成等の取組【新】

## III 医療に関するその他の目標【2(1)ウ、オ(ア)】

- 都民が安心できる救急医療の実現に貢献するため、救急患者を積極的に受け入れる体制を強化する。
- 高齢者に特有の疾患に対応するため、重点医療以外の医療分野においても、高度専門医療の一層の充実を図る。

(想定する主な取組)

- ・救急専門部門における受入れ判断、病床管理など責任の明確化
- ・当直医等による救急対応の検証、問題把握
- ・各種施設認定の取得、先進医療の実施、うつ病等精神疾患への対応強化

## IV 医療と研究の連携、研究成果の活用【2(2)ア、オ】

- 病院と研究所が共通の目的や課題認識の下に、様々な課題に取り組むため、組織体制の強化を図る。
- 研究内容・研究成果の公表、行政施策への提言を積極的に行う。

(想定する主な取組)

- ・24年度に設置するトランスレーショナル・リサーチ推進室を中心とした医療と研究の連携の推進
- ・都をはじめとした自治体、国からの受託研究、受託事業の実施
- ・産学公連携の推進

## V 法人運営に関する目標【2(3)ア、3(2)、4(2)】

- 法人固有職員の計画的な採用と専門性の向上に向けた育成を着実に実行する。
- 法人内の各組織の権限の明確化、内部監査体制の強化など、内部統制の仕組みを強化する。
- 組織全体でコスト管理に取り組むことで、安定的な経営基盤の確立を目指す。

(想定する主な取組)

- ・センターの専門性等を活かした積極的な採用活動
- ・専門医、認定看護師等の資格取得の促進
- ・各種会議等の在り方の検討【新】
- ・会計監査及び業務監査の仕組みづくり【新】
- ・電子カルテ等のデータを活用した効果的な経営分析の実施【新】
- ・各部門における目標設定と進行管理

## VI 災害発生等の非常時への対応【2(1)エ、2(2)ウ(イ)、5】

- 災害時等の非常時に備え、地域の医療機関等との協力関係を構築する。
- 被災した高齢者に対する中・長期的な支援の在り方について研究を行う。
- 震災や新型インフルエンザの発生等の非常時を想定し、法人内の危機管理体制の整備を図る。

(想定する主な取組)

- ・近隣病院との連絡調整会議の開催
- ・地域災害医療連携会議への参画（二次医療圏）
- ・災害時の高齢者のうつ、虚弱、孤立の予防、病院との連携による健康管理の研究
- ・非常時を想定した備蓄、帰宅困難者の受入れ体制整備